

子育て世代で家族の笑顔と思い出をつくる

DRAGON JAM 代表
徳田 和彦 さん



皆の笑顔で自分も幸せに

「きっかけは子どもの頃に
見た光景を川西で再現したい
と思ったことでした」

DRAGON JAM 代表の徳
田和彦さん。市内で美容師を
しながら、音楽や芸術、ダン
スなどの催しを行う地域イ
ベント DRAGON JAM FES
を主催しています。

「今でも地元のイベントは
僕にとっていい思い出です。
家族連れでにぎわい、みんな
笑っていて。子どもたちにも
同じような思い出をつくって
あげたいし、自分もその笑顔
を見たいんです」

笑顔が原動力になると徳田
さんが思い始めたのは、福祉
のボランティアをしていた母
の影響が大きいといいます。

「昔の夢はパティシエで、
毎日ケーキを作っていました。
た。食べきれない分は、1人
住まいのご老人に母と配って
いたんです。人が喜ぶと自分
も幸せになることに気付く
きっかけだったと思います」

子育て世代中心のイベント

子育て世代が楽しむイベン
トを子育て世代でつけれない



かと考えた徳田さん。

「まず友人に協力をお願い
したんですが、言い出したか
らには自分がリーダーになる
訳で。人前で話したり仕切っ
たりするのが得意でないこと
は、後で思い出しました。そ
れでも何とかなるもんです
ね。周りが助けてくれます」

市内の音楽塾の生徒や知人
の知り合いのミュージシャン、
アーティスト、市内の飲
食店など、協力者の輪は広
がっていきました。

「最初は来場者も含め、ほ
んど身内でしたが、協力者
が増えるにつれて来場者も増
えていきました。一方で、人
を集める難しさを痛感しまし

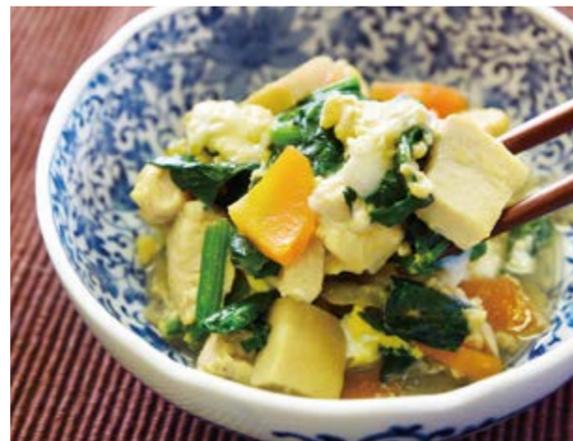
た。地元のイベントを盛り上
げていたおとなたちはすこ
かったんだなと思います」

子どもたちの思い出に

DRAGON JAM FES を
家族で楽しめるイベントにし
たいです。今年は新型コロナウイルス
の影響で、オンライン配信や
コロナ追跡システムなども取
り入れました。

工夫しながら続
けて、恒例イベ
ントをめざしま
す。将来、子ど
もたちがこの光
景を懐かしんで
くれるとうれし
いですね」

同団体のホームページはこちら。イベントの配信には市民協働事業補助金を活用。



高野含め煮卵とじ

甘めでふんわりやさしい味わい

おとなも子どもも
食と育つ 保健センター
☎ 072(758)4721

レシピ 市立保育所・こども園給食部会

●材料・切り方 おとな3人分

- 鶏もも肉 (一口大) 60g²
- ニンジン (いちょう切り) 1/3本
- タマネギ (1/2角) 1/2個
- 高野豆腐 (一口大) 2個 (40g²)
- 卵 4個
- ハウレンソウ (一口大) 1/2束
- 油 大さじ1
- かつおだし 60cc

【調味料】砂糖大さじ2、濃口しょうゆ大さじ1

熱量 (おとな1人分) : 324kcal、塩分 : 1.4g²

●作り方

①鍋に油を熱して、鶏もも肉、ニンジン、タマネギの順番に炒める。油がなじんだらかつおだしを入れ、水で戻した高野豆腐と調味料を加えて煮含める。

②溶いた卵でとじて、ゆでておいたハウレンソウを加える。

memo/ たんぱく質を豊富に取れるため、育ち盛りの子どもやフレイルの予防が必要な高齢者に最適

消費生活センターだより 消費生活センター
☎ 072(740)1167

トイレ詰まりの修理で30万円

緊急修理サービスに注意
思わぬ高額になることも

事例 夜8時ごろトイレが詰まった。慌ててインターネットで「トイレの詰まり980円から・見積もり無料」という広告を見つけて電話した。料金を尋ねたら「現場を確認しないと分かりません」と言われた。現場を見た業者からは「ワイヤブラシで詰まりを直します。料金は1万8,000円です」と言われたが、詰まりは解消されず、便器を外して作業したがそれでも直らなかった。「料金は10万円以上になるが、高圧洗浄するしかない。今から高圧洗浄車を呼びます」と言われた。時刻は夜11時を過ぎ、トイレが使えないままでは困るので仕方なくお願いした。高圧洗浄が終わり契約書と30万円の請求書を渡された。あまりにも高額で驚いたが、帰ってもらうには払うしかないと思い、家にあるお金をかき集めて払ってしまった。(50歳代 男性)

トイレの詰まり、蛇口からの水漏れなど水回りの急な事態に、インターネットなどの「基本料金〇〇円から」などの広告を見て修理を依頼したが、高額だったという相談が増えています。見積もりのみを取るつもりで自宅に来てもらった業者とその場で契約した場合など、特定商取引法の訪問販売にあたる時はクーリングオフ(無条件契約解除)ができます。事例の場合はクーリングオフを申し出ましたが、業者は応じず交渉は難航しています。トラブルを防ぐために、作業前に金額や修理内容を必ず確認し、納得できなければその場で契約しないようにしましょう。鍵開け、蜂の駆除などの緊急サービスでも同様のトラブルがあります。急な事態に備えて修理などを依頼できる業者の情報を事前に集めておきましょう。

生きる 人権推進課
☎ 072(740)1150

自分らしく生きること I

ありのままの自分を受け入れ
前を向いて歩いていく

僕はこれまで、自分自身を受け入れることができず、自分の身体を憎み、男性の身体で生まれてこなかったことを受け入れることができず、それを理由に諦め、前へ進もうとしませんでした。

そして、「生きること」を諦めようともしました。女性だということがバレないように必死になって隠すなど、肩肘を張って偽りの自分で生きていました。でも、そんな僕を変えてくれたのが妻でした。僕を一人の「人」として見てくれて、受け入れ、愛してくれました。妻の前だと着飾ることなく、素の自分でいられました。

今まで何を求めていたんだろう?何がしたかったんだろう?全てを誰かの何かのせいにして先延ばしにしていただけでした。言い訳をして現実から目を背けていました。今は今しかない。これからは前を向いて歩いていきたいと思った時、「自分らしく生きること」を考えるようになりました。

そして、僕は「自分らしく生きることとは、ありのまま生きることだ」と思い、過去の自分も今の自分もそしてこれからの自分も「それでいいじゃん」「ありのまま、そのまんま生きていっていいじゃん」と思えるようになりました。そう思った時、すごく楽になりました。何かから解放された感じがし、そして、やっと自分自身を受け入れることができました。

僕には今、大切な人がいます。妻と子どもたちと、「今」を楽しみながら、「今」を生きていきたいと思えます。

(Like myself 前田良)